

科目名 Course Name	レクリエーション理論 Theory of Recreation				ナンバリング No.	I3-015	
年次	2 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	柿沼 友岐						
連絡方法	C-Learning で対応。または非常勤講師室						
必修／選択	選択(レクリエーションインストラクター資格申請に必要な科目)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	一人ひとりの心身の状況に応じたレクリエーションを提供すると共に、レクリエーションの歴史や重要性などについて学習し、支援者としての理解を深め、レクリエーションの企画・運営ができる。 ①レクリエーションの援助方法についての基本的スキルを習得し、実践できる。 ②レクリエーションの歴史とその背景について、説明できる。 ③対象者に応じた個別のレクリエーションプログラムの立案・実施ができる。						
授業の方法	講義形式の授業だが、発表やグループワークも行う。						
学習成果	L01	援助法についての基本的スキルを習得し、実践できる。					
	L02	レクリエーションの歴史とその背景について理解し、説明できる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	レクリエーション実技については、授業内で随時フィードバックをおこなう。						
教科書／ 参考図書	日本レクリエーション協会 『楽しさをとおした心の元気づくり』～レクリエーション支援の理論と方法～ その他、レジュメを配布する。						
履修上の留意点 やルール等	●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。 ●授業時にふさわしい態度を自ら考え、他人の迷惑になることは控える。 ・基本的に、レクリエーションアクティビティⅠ及びレクリエーションアクティビティⅡの単位未修得者は履修不可。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	必要な時はテキストへのマーキングやノートへの記入をし、大切なことを把握しようと努力する姿が見られる。実技には前向きに参加しようとする姿勢が感じられる。周囲が不快に思う行動はしない。	20					
レポート／作品							
発表							
小テスト							
試験	語句穴埋め、記述式のテストを行い評価する。		40				
その他	プログラム発表で評価する(プログラムの内容、発表態度)	40					
合 計		60	40				

回数		授業計画
1	授業内容	レクリエーション概論 レクリエーション支援 レクリエーションインストラクターの2つの役割
	事前・事後学習	レクリエーションアクティビティで学んだ事を事前に書き出しておく。
2	授業内容	楽しさと心の元気づくりの理論① レクリエーション活動からもたらされる楽しさを感じる心の仕組み
	事前・事後学習	楽しさを感じる心の仕組みについてテキストで確認しておく。
3	授業内容	楽しさと心の元気づくりの理論② レクリエーション活動を心の元気づくりに活かす2つの視点
	事前・事後学習	レクリエーションの効果について、テキストで確認しておく。
4	授業内容	楽しさと心の元気づくりの理論③ ライフステージごとの課題 子供や高齢者や障がいのある人の課題 地域とレクリエーション
	事前・事後学習	将来の職業等がかかわる対象者の様々な課題について調べておく。
5	授業内容	レクリエーション支援の理論① レクリエーション支援におけるコミュニケーション 対象者との信頼関係
	事前・事後学習	レクリエーション支援におけるコミュニケーションについてテキストで確認しておく。
6	授業内容	レクリエーション支援の理論② 信頼関係づくりの方法 ホスピタリティとジョイニング
	事前・事後学習	信頼関係づくりの方法とはどのようなものかを、テキストで確認しておく。
7	授業内容	レクリエーション支援の理論③ レクリエーション活動を通した良好な集団づくり 集団内コミュニケーションの促進
	事前・事後学習	自分をとりまく集団とは、どのようなものがあるか確認しておく。
8	授業内容	レクリエーション支援の理論④ 自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力 やる気の変化と心の仕組み 成功体験を支え合う対象者のかかわり
	事前・事後学習	自主的、主体的とはどのようなことを調べておく。
9	授業内容	リスクマネジメントの方法 レクリエーション活動におけるリスクマネジメント リスクの回避と問題が生じた時の対処の方法
	事前・事後学習	レクリエーションにおけるリスクマネジメントはどのようなものがあるかを調べておく。
10	授業内容	レクリエーション支援のプログラム① プログラムの立案方法の説明
	事前・事後学習	レクリエーションプログラムを立案する。
11	授業内容	レクリエーション支援のプログラム② プログラムの立案
	事前・事後学習	レクリエーションプログラムを立案する。
12	授業内容	レクリエーション支援のプログラム③ プログラムの加筆・修正 発表の練習
	事前・事後学習	レクリエーションプログラムを修正する。
13	授業内容	レクリエーション支援のプログラム④ プログラムの発表①
	事前・事後学習	自分や他者が行ったレクリエーションについて、振り返りを記入する。
14	授業内容	レクリエーション支援のプログラム⑤ プログラムの発表②
	事前・事後学習	自分や他者が行ったレクリエーションについて、振り返りを記入する。
15	授業内容	レクリエーション支援のプログラム⑥ プログラムの発表③ まとめ